

愛知県臨床検査技師会

平成26年度  
精度管理調査報告会  
微生物検査部門

精度管理事業部員  
実務担当者

中根一匡  
蔵前 仁  
池崎幸司  
原 祐樹

江南厚生病院  
刈谷豊田総合病院  
名城病院  
名古屋第二赤十字病院

平成27年3月14日

# 概要

## 【参加施設】

63施設

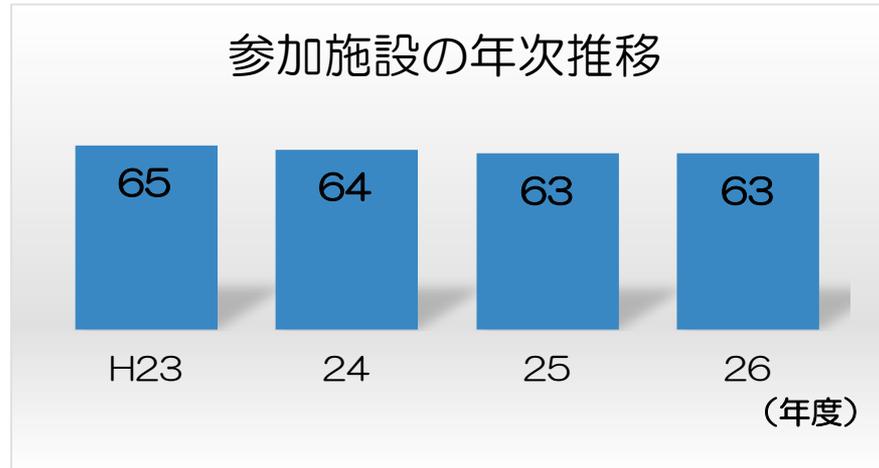
## 【設問内容】

菌株 2種

菌株1 菌の同定と薬剤感受性

菌株2 菌の同定と薬剤感受性

フォト設問 2題



# 評価設定

評価	回答	内容
A	正解	「基準」を満たし、優れている
B	許容正解	「基準」を満たしている
C	不正解	「基準」を満たしておらず、改善が必要
D	不正解	「基準」から逸脱し、早急な改善が必要
評価対象外	未参加 未回答	

# 菌株1の正解

## 【菌名】

*Staphylococcus aureus* subsp. *aureus* (MSSA)  
または  
*Staphylococcus aureus* subsp. *aureus*

## 【薬剤感受性】

	MIC値 ( $\mu$ g/ml)	判定	阻止円 (mm)	判定
CEZ	$\leq 8$	S	$\geq 18$	S
CFX	$\leq 4$	S	$\geq 22$	S
CLDM	$\leq 0.5$	S	$\geq 21$	S

# 菌株2の正解

## 【菌名】

*Klebsiella pneumoniae* subsp. *Pneumoniae*  
(ESBL産生株)

## 【薬剤感受性】

	MIC値 ( $\mu$ g/ml)	判定	阻止円 (mm)	判定
CAZ	$\geq 16$	R	$\leq 17$	R
IPM	$\leq 1$	S	$\geq 23$	S
CPFX	$\leq 1$	S	$\geq 21$	S

# フォトサーベイの正解

【フォト設問1】

*Cryptosporidium* sp.

または

*Cryptosporidium parvum*

【フォト設問2】

*Sarcoptes scabiei* (ヒゼンダニ)

# 菌株同定の成績

	推定微生物名	回答数	回答率 (%)
菌株 1	<i>Staphylococcus aureus</i> subsp. <i>aureus</i> (MSSA)	50/62	80.6
	<i>Staphylococcus aureus</i> subsp. <i>aureus</i>	11/62	17.7
	<i>Staphylococcus aureus</i> subsp. <i>aureus</i> (MRSA)	1/62	1.6
菌株 2	<i>Klebsiella pneumoniae</i> subsp. <i>pneumoniae</i>	62/62	100

# 菌株1の薬剤感受性評価成績

## 【微量液体希釈法】

薬剤名	A評価	B評価	C評価	D評価
CEZ	56/57 (98.2%)	1/57 (1.8%)	—	—
CFX	49/50 (98.0%)	1/50 (2.0%)	—	—
CLDM	56/57 (98.2%)	1/57 (1.8%)	—	—

## 【ディスク法】

薬剤名	A評価	B評価	C評価	D評価
CEZ	4/5 (80.0%)	—	1/5 (20.0%)	—
CFX	7/8 (87.5%)	—	—	1/8 (12.5%)
CLDM	4/4 (100%)	—	—	—

# 菌株2の薬剤感受性評価成績

## 【微量液体希釈法】

薬剤名	A評価	B評価	C評価	D評価
CAZ	55/56 (98.2%)	1/56 (1.8%)	—	—
IPM	53/56 (94.6%)	3/56 (5.4%)	—	—
CPFX	51/52 (98.1%)	1/52 (1.9%)	—	—

## 【ディスク法】

薬剤名	A評価	B評価	C評価	D評価
CAZ	5/5 (100%)	—	—	—
IPM	4/5 (80.0%)	—	—	1/5 (20.0%)
CPFX	2/4 (50.0%)	—	2/4 (50.0%)	—

# フォトサーベイの成績

	推定微生物名	回答数	回答率 (%)
フォト設問1	<i>Cryptosporidium</i> sp.	40/63	63.5
	<i>Cryptosporidium parvum</i>	23/63	36.5
フォト設問2	<i>Sarcoptes scabiei</i> (ヒゼンダニ)	63/63	100

# まとめ

## 【参加施設】

参加施設は63施設で横ばい傾向であった。

## 【菌名同定】

菌株1では、「A評価」の施設は、62施設中61施設（98.4%）、菌株2では、62施設中すべてが「A評価」であり、良好な成績であった。

## 【薬剤感受性】

菌株1および菌株2ともに「A評価」の施設が多く、良好な成績であった。

## 【フォトサーベイ】

フォト設問1およびフォト設問2ともに回答した63施設すべてが「A評価」であり、良好な成績であった。

# 最後に

- 今回、2種類の菌株を用いた精度管理調査を行った。2種類の菌株は精度が管理された菌株であり、菌名同定および薬剤感受性の結果において大きな偏りは見られず、良好な成績であった。
- 今年度も日臨技JAMTQC精度管理システムを使用し回答していただいたが、こちらの不手際により追加コメントが任意になっており、その内容が反映されなかったことは反省する次第である。しかしながらJAMTQC精度管理システムによって各施設へ施設別報告書を出せたことは大きな成果だと考えている。
- 今後も設問の内容、回答形式など改善を行い、より良い精度管理調査を行っていくために、ご理解とご協力を賜りたい。